



# 今月の大槌びと

## 阿部 愛音さん

(大槌高校3年、民謡おおつち一心会)

民謡を学び、全国大会などで優勝という輝かしい成績を残した阿部さん。来年度から保育士を目指し進学。現在はピアノの練習に励んでいます。

お姉さんたちにあこがれ楽しんで唄ってこられた

阿部さんが民謡を始めたのはいつからですか？

阿部さん(以下阿)——小学校3年生からやっています。おばあちゃんに勧められて、教室に連れて行ってもらったのがきっかけです。当時は臼澤みさきさんをはじめお姉さんたちがいて、「民謡ってかっこいいな」と憧れて練習を続けるようになりました。

民謡は楽しいですか？

阿——楽しいです。それに、施設の慰問などで唄を聞いてもらって、喜んでもらえるのが嬉しいです。

この度は優勝おめでとうございます。大会ではどんな気持ちでしたか？

阿——一般部門だったので、

岩手や東北の大会で見る先輩方がたくさん出場していて、勉強させてもらうつもりで臨みました。そのせいか緊張せず唄うことができました。

周りの人達の支えに感謝 これからも唄を続けたい

大会を終えて、感じたことは何ですか？

阿——大会に連れて行ってくれたり、一緒に尺八や三味線を習い始めてくれたお父さん、お母さん。一緒に練習したり、出番まで席にいてくれて心強い仲間。いつも「自分に負けるな」と励ましてくれて、第2のお母さんのような存在の先生。優しくて賑やかな一心会のみんな。今までの一つ一つに感謝を感じました。

みんなと一緒に行くのが最後



だと思ったら、小さい頃からの事を思い出して涙が出てきてしまいました。

支えてくれた人達、これから離れることになる地元への思いを聞かせてください。

阿——これからも民謡を続けていこうと思っているのですが、また慰問などの機会があれば、帰ってきて唄って喜んでもらいたいです。そうすることで恩返しができるればいいなと思います。

# 大槌びと クロストーク Cross talk

2月号 松坂 勇毅さん  
3月号 阿部 愛音さん

前号と今号の大槌びとが対談するコーナーです。様々な分野で活躍する大槌びとの皆さんが、誌面の上で出会います。「たし算」ではなく、「かけ算」の絆が、また新たな大槌を創っていきます。

松坂さん(以下松)——大会での優勝おめでとうございませす。春からは保育士を目指して進学と聞きました。自分はずっと大槌にいて、1人暮らしの経験も無いですが、不安じゃないですか？

阿部さん(以下阿)——離れるのを目前にしたら、お父さんお母さんや、学校や民謡の仲間など、当たり前だった事が変わるんだなあと感じて少し不安を感じる部分もあります。

松——自分もまだまだなので何も言えないですけど、友達は絶対大事にしたほうがいいと思います。今まで色々な場面で助けになってくれました。すごく感謝しています。

阿——友達への感謝はどんな時に一番感じますか？

松——この間の成人式もそうだし、助けてもらったことはいっぱいありますが、それを感じるの久しぶりな時です。みんなで集まって話したり、最近お酒を飲むようになったりして、そんな時「こういう仲間がいて幸せだなあ」と感じます。

阿——同じ学校や寮にも仲のいい友達と一緒に行くので心強く感じています。その友達や新しくできる友人をずっと大事にしていきたいと思っています！

